



夏のインフルエンザに要注意

9 月も中旬を過ぎましたが、夏を思わせる陽気が続く中で、幼稚園内でインフルエンザが流行り、驚きました。保護者の皆様には、大変、ご心配をおかけしましたが、連休明けの 17 日、養護教諭からインフルエンザによる欠席者はゼロという報告を受け、いったん終息したと思われ、一安心したところです。

9 月初旬に 2~3 人の園児が、熱っぽいということで、病院で検査していただいた時には、風邪ということでした。医者もまさか、この時期にインフルエンザとっていなかったのでしょうか、ワクチンも準備されていないということでした。

その後も、熱っぽいという理由で休む子どもたちが続出して、初めてインフルエンザに罹患しているということが判明しました。

福岡県内では、今年初めてということで、テレビ局の数社が来園し、撮影の許可を求めてきましたから、園舎内に入らず、園舎の外側からならよいという条件で撮影を許しました。養護教諭によると、毎年、県内で初めて罹患者が出たところは、必ず、マスコミ関係に取り上げられると聞いていましたが、まさか、本園が取り上げられるような事態になるとは、誰もが予想しなかったことです。

東京の方でインフルエンザによる学級閉鎖が出たというニュースは、対岸の火事として見ていました。まさか、本幼稚園に襲ってくるとは想定外でした。

これも地球温暖化の影響でしょうか。夏の暑さがいつまでも続くかと思えば、集中豪雨やゲリラ豪雨のために、日本のあちこちが水害に遭っています。気温も、一昔前までは、東北、北海道は、九州より涼しくて過ごしやすかったです。東北・北海道の夏は、九州とあまり変わりません。むしろ暑い日もあります。また東北や北陸の内陸部は、フェーン現象により、日本で最高温度を記録しています。

この温暖化現象が天候異変を招き、インフルエンザのウィルスをどこかで増殖させているのでしょう。季節の上では秋です。畦道には、赤や白の彼岸花が目につくようになり、確実に寒い冬がやってきます。ご家庭で、インフルエンザや風邪などに罹患しないよう、お気を付けください。予防のために、ご家庭での手洗い、うがいの励行を引き続きよろしくお願いいたします。

冬の本格的シーズンには全員が無事に乗り越えられるようにしましょう。



非常時に備えた引き渡し訓練

9 月 5 日 (木) に、幼稚園で初めて、災害を想定した保護者への引き渡し訓練を実施しました。

大規模な地震や幼稚園等での火事、近隣の河川が氾濫した場合を想定して、

① 保護者の皆様が、ご自宅や勤務先からどの位の時間で、お子様を迎えに来れるのか。

② 幼稚園としては、保護者の皆様お一人お一人の顔と名前を照合し、確実にお子様を引き渡せるか。

の訓練を行いました。保護者の中には、実際の災害を想定して、公共の交通機関も使わずに、荒戸からベビーカーを引いて、歩いてお子さんを迎えに来られた方もいました。(ありがとうございました。)

この訓練は、最近、各地の小学校でも実施されています。先日の関東地方を襲った台風や福岡県の水害等を見ていると、予報(予想)をはるかに超えて、集中的に大きな被害をもたらしました。

天気予報も数年前に比べると、高度な技術の進歩により、ピンポイントで小さな町や村まで詳細に予報を立てられるようになりましたが、それでも、予報をはるかに超えた【想定外】の事象がたくさん起きています。最近では、日本のどこかで、必ずと言っていいほど風水害や地震の被害を受けているのも事実です。

園児が、怖がらずに長時間、保護者の迎えを待てるように、遊戯室の大型スクリーンを利用して、アニメを上映したところ、子どもたちは映像を食い入るように見ていました。英語版の吹き替えなしのアニメも静かに見ていましたので、今後の利用法を考えるいい機会にもなりました。実施後、反省会を持ち、以下のような課題も明らかになってきました。

① 引き渡し訓練の時期

② 受付場所や引き渡す場所

③ 待機場所で園児が落ち着いて待機できる工夫

④ 実際に引き取り可能な保護者(両親、祖父母等)の引き渡しカードへの記名 etc.

